

PEM036-14

会場:ファンクショナルルームA

時間: 5月25日15:45-16:00

太陽活動の気候への影響を探る－CAWSES II・TG1の課題

What is the solar influence on climate- Task Group 1 in CAWSES-II

廣岡 俊彦^{1*}

Toshihiko Hirooka^{1*}

¹九大院理

¹DEPS, Kyushu Univ.

太陽活動は分単位から千年規模に至る広い時間スケールで変動している。変動の振幅は全太陽放射量と比べると非常に小さいが、地球大気の変動を引き起こす可能性があるものと考えられている。CAWSES IIのTG(Task Group)1では、そのような太陽活動が、地球システムにおける何らかの増幅過程を通して地球大気に与える影響に焦点を当てる。TG1では以下の3つの研究課題が提唱されている。即ち、(1)非定常的な太陽活動が中層および下層大気に与える影響はどのようなものであるか、(2)太陽活動の長期変動が気候に及ぼす直接的影響を見積もる際の不確定な要素は何か、(3)太陽活動が気候に及ぼす間接的影響について数値実験を行い定量化するにはどうすればよいか。明らかなように、これら、太陽活動が気候に与える影響の解明は、IPCCの中心的な課題でもある。本講演では、上記課題に対する理解の現状を述べ、今後の研究計画について議論を行う。

キーワード:太陽活動,気候, CAWSES II

Keywords: solar activity, climate, CAWSESII